

30日死者統計

1 30日死者の状況

(1) 県下と全国の発生状況

○ 県下

死者	区分	12月中		12月末			
		増減	比率	増減	比率		
	24時間死者	12	+1	1.00	103	-17	1.00
	30日死者	3	±0	0.25	32	+1	0.31
	30日以内死者	15	+1	1.25	135	-16	1.31

○ 全国

死者	区分	11月中		11月末			
		増減	比率	増減	比率		
	24時間死者	254	+2	1.00	2,378	+48	1.00
	30日死者	61	+1	0.24	511	-29	0.21
	30日以内死者	315	+3	1.24	2,889	+19	1.21

注：1 「30日死者」とは、事故発生から24時間経過後30日以内に死亡した人をいう。

2 「30日以内死者」とは、「24時間死者」と「30日死者」の合計で、警察統計の交通事故全死者をいう。

3 比率とは、「24時間死者」に対する比率で、「24時間死者」の〇〇倍と表す。

(2) 概要

12月末の県下の「30日死者」は32人(+1人)、「24時間死者」は103人(-17人)で、これらをあわせた「30日以内死者」は135人(-16人)であり、「24時間死者」の1.31倍となっている。

(3) 特徴 (30日死者の構成率)

- 地区別 阪神10人(31.3%)、神戸9人(28.1%)、東播7人(21.9%)、西播6人(18.8%)で発生している。
- 状態別 歩行中16人(50.0%)、自転車乗用中8人(25.0%)、自動二輪乗車中4人(12.5%)、一般原付乗車中4人(12.5%)となっている。
- 年齢層別 65歳以上が21人(65.6%)、25~64歳が11人(34.4%)となっている。
- 経過日数別 10日以内の死亡が24人(75.0%)となっている。
- 損傷部位別 頭部の損傷が22人で、68.8%となっている。